

令和6年度

佐久市交通安全対策実施結果



佐久市交通安全対策協議会

目次

第1章 道路交通環境の整備

- 1 交通安全施設等の整備…………… 1
- 2 その他道路交通環境の整備…………… 5

第2章 交通安全意識の普及徹底

- 1 交通安全教育の推進…………… 6
- 2 交通安全運動の推進…………… 7

第3章 救助・救急体制の整備

- 1 救助・救急体制の整備…………… 9
- 2 ドクターヘリ・ドクターカーの活用促進…………… 10
- 3 救急法の普及…………… 10

第4章 被害者援護体制の充実 …… 11

第5章 鉄道交通の安全に関する施策 …… 12

第6章 通学路の交通安全対策 …… 13

第1章 道路交通環境の整備

1 交通安全施設等の整備

(1) 公安委員会に関する事項

- ・信号機改良については、管内の信号灯器を随時LED化、灯器数の削減等を重点的に推進した結果、視認性の向上等、安全な交通環境の整備と適切な施設維持管理を進めることができました。
- ・道路標識・標示整備に関しては、耐用年数を経過し老朽化した標識の交換、摩耗した横断歩道標示の整備が計画的に実施され、交通事故防止に大きな効果がありました。
- ・今後の方針は、「省エネ」「低コスト」「長寿命化」の三本柱を最重点項目として、信号機改良及び不要信号機の撤去、道路標識の設置方法の合理化等、地域住民に対して十分な説明を行うとともに、時代に即した交通規制の見直し等を実施していきます。

所管		佐久警察署		
区 分		実施計画 量	実施結果 量	場所・内容等
信号	信号機改良	10 基	10 基	望月宿入口ほか9基
	信号機新設	1 基	1 基	取出町相生交差点 (移設)
標識 標示	横断歩道新設	0 箇所	0 箇所	
	一時停止新設	0 箇所	0 箇所	
	既設道路標識補修	30 本	51 本	市内老朽化標識交換
	既設道路標示補修	3,500m	4,000m	市内横断歩道・停止線等

(佐久警察署管内全体)

(2)道路管理者に関する事項

ア 国道及び県道

安全で快適な交通環境の整備

- ・交通事故の発生実態や高齢者等交通弱者の道路利用実態を踏まえた交通安全施設整備を実施しました。
- ・安全でスムーズな道路交通を確保するため、交差点の改良や歩道の整備を実施しました。
- ・通学路の安全を確保するため、歩道の整備及び交通安全施設の整備を実施しました。

所管		佐久建設事務所						
工種			実施計画			実施結果		
			事業量	事業費 (千円)	摘要	事業量	事業費 (千円)	摘要
法に基づく交通安全施設	第1種	歩道	60m	9,000	伴野～鳴瀬	60m	9,500	伴野～鳴瀬
			340m	100,000	志賀拡幅 (道路拡幅改良工含む)	340m	130,000	志賀拡幅 (道路拡幅改良工含む)
			70m	7,600	平塚	370m	5,800	平塚
		歩道切下げ						
		視覚障害者用ブロック						
		自転車歩行者道						
		地下横断歩道						
		その他(横断歩道橋)						
	第2種	道路照明						
		防護柵						
		道路標識						
		区画線	17.2 km	7,469	(国)141号他	26.56 km	15,708	(国)141号他
		視線誘導線						
		道路反射鏡						
		その他(転落防止柵)						
		その他(ボラード)						
その他	グリーンベルト標示							
	歩道舗装							
	草刈	60,000 m ²	12,000	(国)141号他	145,438 m ²	38,251	(国)141号他	

イ市道

市道における交通安全対策のため、道路反射鏡・防護柵・区画線等の安全施設整備を実施しました。

今後も地域の実情に対応した効果的な対策を検討し、可能なものから速やかに実施していきます。

所管		佐久市 建設部 土木課						
工種			実施計画			実施結果		
			事業量	事業費 (千円)	摘要	事業量	事業費 (千円)	摘要
法に基づく交通安全施設	第1種	歩道						
		歩道切下げ						
		視覚障害者誘導用ブロック	0m	0		27m	748	
		自転車歩行者道						
		地下横断歩道						
		その他						
	第2種	道路照明	0 基	0		1 基	5,192	
		防護柵	150m	3,000		477m	21,124	
		道路標識	5 基	1,000		0 基	0	
		区画線	20,000m	12,000		15,567m	11,521	
		視線誘導線						
		道路反射鏡	50 基	14,000		91基	27,155	
		その他(点字シート・ボラード・路面標示・車線分離標)	0 箇所	0		10 箇所	9,060	
その他	グリーンベルト標示	2,000m	10,000		2,090m	7,101		
	カラー舗装							
	草刈	200 km	9,500		227 km	7,779		

ウ農道

農道では、舗装新設・砕石支給・生コン支給どれも計画より下回ったものの、事業方針である区要望を中心に緊急度の高い箇所から優先的に事業を実施することが出来ました。

今後も緊急性が高い事業から実施していきます。

所管	佐久市 経済部 耕地林務課	
区分	実施計画	実施結果
舗装新設	500 m	344 m
砕石支給	500 m ³	344 m ³
生コン支給	300 m ³	184 m ³

エ林道

林道では、車両の通行が多い路線を中心に整備を行い、不陸整正は降雨の影響による整備も含めて計画量を上回り、林道の安全確保のための対策を行う事が出来ました。また、舗装新設はありませんでしたが、舗装打ち替えは81m行いました。

今後も地元区からの要望及び意見を伺いながら、安全な農道及び林道整備を実施していきます。

所管	佐久市 経済部 耕地林務課	
区分	実施計画	実施結果
舗装新設	100 m	0 m
不陸整正	500 m ²	5,018 m ²
高枝切り	500 m	550 m
丸太筋工	0 m	0 m
草刈り	130,000 m	132,554 m

2 その他道路交通環境の整備

(1) 放置自転車対策

JR 小海線の主要な駅及び駅前広場やその周辺道路等の利用環境を維持し、歩車道通行の安全を確保するため、駅前駐輪場に放置された自転車の撤去を行いました。

所管	佐久市 建設部 土木課 ・ 環境部 生活環境課	
区分	実施結果	
放置自転車撤去作業回数	3 回	
放置自転車撤去台数	38 台	

(2) 法定外交通安全看板の設置

地区内の危険箇所等に設置する「通学路 子どもに注意」「横断歩道あり スピード落とせ」などの注意喚起標語を印刷した看板を、区等からの要望に基づいて交付しました。

所管	佐久市 環境部 生活環境課	
区分	実施結果	
法定外交通安全看板の配布数	33 枚	

第2章 交通安全意識の普及徹底

1 交通安全教育の推進

(1) 保育所、幼稚園、学校等における交通安全教育

保育所、幼稚園や学校等において実施される交通安全教室への交通指導員の派遣や、交通安全教育用 DVD ソフト、ミニ信号機等の機材貸出を行いました。

また、長野トヨタグループより寄贈された「うんこ交通安全ドリル」(歩行者編・自転車編)を事故が多いとされる7才(小学2年生)へ配布し、交通安全教育に活用しました。

(2) 社会教育における交通安全指導

高齢者が集う機会に交通安全教室を実施したほか、市民全体で交通事故防止意識の高揚を図るため「佐久市交通事故防止市民週間」を実施しました。

「市民週間」では、「佐久市農業祭」来場者に反射材の配布、ヘルメット着用促進、パトカー・白バイ展示、サポカー乗車体験を実施したほか、交通安全宣言(交通安全のお約束)カードを書いて飾りつけをした「交通安全クリスマスツリー」を来場者の子どもの皆さんと作成し、市役所や佐久警察署に展示し、交通安全啓発を実施しました。

所管	佐久市 環境部 生活環境課	
	実施事業	実施結果
	保育所、幼稚園における交通安全教室	実施回数 7 回 受講者数 695 名
	小中学校交通安全教室	実施回数 12 回 受講者数 3,416 名
	小学校PTAによる地区単位の交通安全教室	実施回数 14 回 受講者数 520 名
	高齢者交通安全教室	実施回数 2回 受講者数 30 名
	佐久市交通事故防止市民週間	実施期間 11 月8日(金)～11 月 14 日(月) 啓発イベント 14,000 名 ヘルメット着用促進、パトカー・白バイ展示、サポカー乗車体験、交通安全クリスマスツリーの展示。

2 交通安全運動の推進

(1) 季別の交通安全運動

年4回の交通安全運動において、次のように啓発活動を実施しました。

所管	佐久市 環境部 生活環境課
実施事業	実施結果(主な活動)
春の全国交通安全運動 4月6日(土)～4月15日(月) 10日間	1 交通指導所開設(人波作戦) (1)令和6年4月5日(金) 佐久平駅東交差点 参加者 70名(主催:佐久市) (2)令和6年4月8日(月) 東信運転免許センター 参加者 50名(主催:川西安協) (3)令和6年4月13日(土) (国)141号県境チェーン脱着所 参加者 100名(主催:南佐久安協) 2 広報活動 SNS、ラジオ、新聞、広報誌
夏の交通安全やまびこ運動 7月11日(木)～7月20日(土) 10日間	1 交通指導所開設(人波作戦) (1)令和6年7月11日(木) 佐久平駅東交差点 参加者 50名(主催:佐久安協) (2)令和6年7月11日(木) 臼田小学校校舎周辺 参加者 15名(主催:南佐久安協) (3)令和6年7月20日(土) 道の駅ほっとぱーく浅科 参加者 30名(主催:川西安協) 2 広報活動 SNS、ラジオ、広報誌
秋の全国交通安全運動 9月21日(土)～9月30日(月) 10日間	1 交通指導所開設(人波作戦) (1)令和6年9月20日(金) ヘルシーテラス佐久南 参加者 80名(主催:佐久市) (2)令和6年9月20日(金) 臼田小学校前及び周辺通学路 参加者 30名(主催:南佐久安協) (3)令和6年9月21日(土) 道の駅ほっとぱーく浅科 参加者 30名(主催:川西安協) 2 広報活動 SNS、ラジオ、新聞、広報誌
年末の交通安全運動 12月15日(日)～12月31日(火) 17日間	1 交通指導所開設(人波作戦) (1)令和6年12月16日(月) イオンモール佐久平 参加者 70名(主催:佐久市) (2)令和6年12月21日(土) 臼田「スーパーツルヤ」 参加者 26名(主催:南佐久安協) (3)令和6年12月21日(土) 道の駅ほっとぱーく浅科 参加者 30名(主催:川西安協) 2 広報活動 SNS、ラジオ、新聞、広報誌

(2) その他年間を通して実施する交通安全活動

春秋の交通安全運動期間中にシートベルト着用調査を実施しました。

(3) 啓発日の設定

各月の啓発日を「交通安全の日」「シートベルト啓発の日」に設定し、交通指導員による街頭指導活動を実施しました。

(4) 緊急対策等の実施

交通死亡事故発生に伴い、再発防止検討会を実施しました。

所管	佐久市 環境部 生活環境課
実施事業	実施結果
シートベルト着用調査 (年2回実施)	実施日:令和 6 年 4 月 12 日 (調査台数 200 台) 調査結果:運転席着用率 100% 助手席着用率 100% 後部席着用率 100% 実施日:令和 6 年9月 25 日 (調査台数 200 台) 調査結果:運転席着用率 100% 助手席着用率 100% 後部席着用率 100%
佐久市交通指導員による 街頭指導活動等	指導員数:14 名 延出動回数:955 回
啓発日の設定	1 交通安全の日 毎月5日 20 日 2 シートベルト啓発の日(シートベルトの日) 毎月4日 14 日 24 日
交通死亡事故発生に伴う 「現地診断及び再発防止検討 会」	実施回数:1回 令和 6 年 7 月 3 日 三塚地籍(発生現場) 出席者 15 名 参集団体 長野県警察本部交通部交通企画課、佐久警察 署、佐久地域振興局、佐久交通安全協会、長野県 安全運転管理者協会、佐久市交通指導員会、三塚 区長、佐久市生活環境課

第3章 救助・救急体制の整備

人命に危険を及ぼすような交通事故が発生した際に、迅速・的確な応急手当等により救命率を向上させることが重要であることから、各消防署において次のように事業を実施しました。

1 救助・救急体制の整備

所管	佐久消防署・川西消防署・北部消防署	
実施事業	実施結果	
救助・救急体制の整備	佐久消防署	安全運転管理者による定期多岐な運転免許証の確認及び交通安全喚起の徹底を実施しました。 若年職員を対象にした走行訓練及び自動車教習所における運転技術向上訓練の受講の実施をしました。 廃車車両を用いての交通事故を想定し、迅速な要救助者の救出を目的とした車両破壊救出訓練を実施しました。
	川西消防署	緊急車両に対する法定点検整備、毎日の始業点検の励行、活動資器材の点検整備等を行い常に万全な出動体制を確保しました。また、緊急車両の運転者育成のため、養成訓練、日々の走行訓練を実施しました。
	北部消防署	交通事故による負傷者の尊い人命を救うため、高度な知識と専門的な救助・救急技術を持った隊員の訓練(育成並びに資器材の整備)によって救助・救急体制の充実を図りました。 車両破壊救助訓練や交通事故等を想定した救急訓練を実施しました。 ・ 警防、救助訓練 実施回数 76 回 ・ 救急訓練 実施回数 27 回

2 ドクターヘリ・ドクターカーの活用促進

所管	佐久消防署・川西消防署・北部消防署	
実施事業	実施結果	
ドクターヘリ・ドクターカーの活用促進	佐久消防署	隔月開催のドクターヘリ事後検証会議へ積極的に参加しました。
	川西消防署	消防指令センター・指揮隊との連携、情報共有化により、早期にドクターヘリの現場投入ができました。 ・ドクターヘリ要請件数 14 件(急病:7 件、一般負傷:4 件、交通事故:3 件、労災:0 件) ・ドクターカー要請件数 8 件(急病:7 件、一般負傷:1 件、交通事故:0 件、労災:0 件)
	北部消防署	負傷者にとって有益な治療が早期に受けられるため、通報内容と災害規模を的確に判断し出動時点から消防指令センターと緊密な情報共有を図り、負傷者に一刻も早い医師の接触ができるよう活動しました。 ・ 出動回数: ドクターヘリ 3 回 、 ドクターカー 3 回 ※ドクターカー内訳:佐久管内1件、佐久穂町 5 件

3 救急法の普及

所管	佐久消防署・川西消防署・北部消防署	
実施事業	実施結果	
救急法の普及	佐久消防署	・普通救命講習の実施 実施回数 28 回 受講者数 333 名 ・一般救命講習の実施 実施回数 72 回 受講者数 1,924 名
	川西消防署	応急手当講習会等の開催 ・上級、普通救命講習会(AED 講習含む) 上級実施回数 1 回 受講者 13 名、 普通救命実施回数 14 回 受講者 84 名 ・その他の応急手当講習 実施回数 21 回 受講者 357 名 広報誌ケーブルテレビ等の活用 ・望月有線等にて、火災予防週間、救命講習等掲載
	北部消防署	普通救命講習等実施 実施回数:46 回 、 受講者:930 人 ※内訳:BLS 40 回 864 名 、 普通救命講習Ⅰ 6 回 66 名

第4章 被害者援護体制の充実

交通災害共済制度の普及促進

交通事故により負傷した場合、入院(通院)日数に応じてお見舞金を支給し、被害を受けた人を救済する長野県民交通災害共済制度の普及推進に取り組みました。

所管	佐久市 環境部 生活環境課				
実施結果					
令和 6 年度中 加入状況	一般会員	特別会員	会員総数	加入人口 比	加入者数 前年度比較
	42,593 人	10,122 人	52,715 人	54.3%	-1,516 人
令和 6 年度見 舞金支給状況	見舞金請求件数		うち死亡事故件数	見舞金支払い総額	
	128 件		0 件	7,830,000 円	

第5章 鉄道交通の安全に関する施策

踏切事故等の防止対策として、次の事業に取り組みました。

所管	JR東日本小海線統括センター
実施事業	実施結果
踏切事故の防止対策	定期的な巡回の他、繁忙期間前には軌道、敷板、舗装、見通し、標識等を重点的に点検確認しました。また、保育園(幼稚園)園児を対象とした出前講座については、社員が踏切横断時の注意事項を紙芝居にまとめ読み聞かせるほか、模擬踏切を使用した体験型講習を実施して理解の深度化を図りました。
自動車運転時等の事故防止	春・秋の全国交通安全運動期間においては、朝礼点呼、訓練会にてプライベートも含めた交通ルールの順守・徹底を呼びかけました。また、業務用自動車を運転する際は出発前に管理者が対面で免許確認、アルコールチェックを実施し、安全運転への心掛を伝達しました。
異常時等における踏切の安全確保に向けた取り組みの推進	無人駅を含む全ての駅にハザードマップを掲示済。悪天候等による計画運休が生じた際は、沿線の学校等へ情報共有を図りました。異常時対応能力向上については、実車を使用した訓練会を日中・夜間帯に実施し、安全に対する知識・技能の蓄積を図りました。

第6章 通学路の交通安全対策

通学路交通安全プログラムに基づき、道路管理者、交通管理者等と連携して、児童生徒が安全に登下校できるようできるように、次のとおり取り組みました。

所管	佐久市通学路安全推進会議(佐久市学校教育課)	
実施事業	実施結果	
1 通学路交通安全プログラムに基づく通学路安全推進会議の開催 令和 6 年9月 25 日(水)		
2 通学路交通安全プログラムに基づく安全対策実施状況		
令和 6 年度実施結果		
要望件数	実施件数	実施率
126 件	55 件	43.6%

令和6年度佐久市交通安全対策実施結果

令和7年8月

発行 佐久市・佐久市交通安全対策協議会

編集 佐久市 環境部 生活環境課

事務局 〒385－8501

長野県佐久市中込3056

電 話:0267(62)3094

FAX:0267(62)2289

URL:<http://www.city.saku.nagano.jp>